

ラン活(ランドセル購入のための活動) 編集記事がバズって メーカー様から感謝のご連絡！

株式会社ノムラのプレスご担当者様より
嬉しいコメントをいただきました！

**突然、一日平均の5倍の資料請求の
問い合わせが殺到！**

WEBサイトへの流入数も**200%増**、同業他社
の方がたからも共働きwithの記事について声を掛け
られるほどでした！

ランドセルのカタログ請求は4月がピーク。この記事が掲載された頃はもうひと段落モード
だったのですが、突然一日の平均の5倍の資料請求の問い合わせが殺到！
資料請求の備考欄に「記事を読んで・・・」と書いてある方が多数あり、共働きwithに取り上
げられた反響のすごさを感じました。
暫くそんな状況が続いて、資料請求の数に発送作業が追いつかず、お客さまをお待たせして
しまうような状況になってしまったり。嬉しい悲鳴とはこのことかと思いました。



<https://www.instagram.com/p/CdVNtyNjH4U/>

↑ Instagramでは共働きwithと編集長に関する有難い
お言葉が詰まった投稿もいただきました

Twitterの ユーザーコメントも盛り上がりを見せました！

5/8投稿のモーメント

<https://twitter.com//events/1522977653988675584>



【朗読ラン活事例】「金銭決められない」ランドセルの急ぎデザイン。親と子ども、どちらの好みも優先させるべき？

5/3投稿

https://twitter.com//with_magazine/status/1521414258722054144



雑誌編集者の母親が工房系ランドセルでなく、感の豊かに寄り添うランドセルを編んだ理由とは【朗読】

5/6投稿

https://twitter.com//with_magazine/status/1522486434715873280



ランドセル選びの悩みを解決！子どもの好みが変わるのも、親子で意見が分かれてもOKなランドセルを提案！【後編】

4/29掲載記事

共働き編集長の「いいもの見つけた！」
【ラン活で後悔しない！】わが家が工房系ランドセルではなく、特別なランドセルに行きついた話

29.Apr.2022 子育て・教育

前編

掲載から10日間で
6.3万PV超！



後編

掲載から5日間で
2万PV超！

ランドセル選び、子どもの好みと親の意見が全然違った……。どうすれば後悔しないのか。

ランドセル選び、いつからかラン活なんて呼ばれて、一大イベントのようになりましたね。
我が家が昨年小学生になった娘がおりまして、ランドセルには頭を悩ませました。
なぜこんなにも皆さん悩むんでしょう。

私が思うに、ランドセル選びは、その子どもと親にとって、初めて「好みのはっきり始めた子が「長く使う」ものを選ぶから、なのではないかと思っています。

- ① <https://withonline.jp/lifestyle/ifound-goodthings/sjDnO>
- ② <https://withonline.jp/lifestyle/ifound-goodthings/zDODS>

にしきごい @vUZbva... · 2022/05/09
年々、購入時期早まっているみたい
再来年の今頃はラン活か

しる@6y 26w @Shi... · 2022/05/08
あっ娘のランドセルのこたごだ
パーツも沢山あってほんと可愛いし、年齢に応じてパーツ変えられるから嬉しいと思う
#ノムランドセル

lili @lil2034817025 · 5月9日
こんなかわいいアクセサリーみたなのあるの！すごいね！いや〜考えるなあ。商材として素晴らしいわ。これは数回購入する可能性がある。ランドセルに比べたら値段は安いから、買いやすいプレゼントしやす。発想の勝利だね。いくらかみてないけど

良い商品のご紹介+家族コミュニケーションを記事化したことで同様のお悩みを抱える読者さんの共感を生み、商品の売上貢献に。



編集長：岡本 朋子

共働きwith

働く女性ももっとラクになって、人の力を借りて、テクノロジーの力を借りて、あなたがラクに、楽しく、軽やかに、家庭と職場を行き来する。そんな世の中を作りたい、と共働きwithは考えています。
<https://withonline.jp/tomobataraki>